

## 漂流・漂着ゴミ国内削減方策モデル調査(第2期)

近年、外国由来のものを含む漂着  
 ゴミによる被害が深刻化。  
 (海岸機能の低下、生態系を含む環  
 境・景観の悪化、漁業への被害)

漂流・漂着ゴミの問題について、関  
 係者間の相互協力が可能な体制  
 作りを推進することが当面の施策  
 として最も有効。

「漂流・漂着ゴミ国内削減  
 方策モデル調査(第2期)」  
 (平成 21 ~ 22 年度)

モデル地域につき、漂着ゴミに関  
 する詳細な調査、地域の関係者  
 による検討を実施。

漂着ゴミの実態の把握  
 (量や発生源の推定)  
 地域の実情に応じた漂着ゴミの  
 効率的かつ効果的な回収・処理  
 方法の確立  
 地域の実情に応じた漂着ゴミ対策  
 のあり方の整理、地域の関係者  
 間の相互協力が可能な体制作り

### 本調査のフロー

#### モデル地域の募集(都道府県より募集)

新たなモデル地域  
 としての応募

重点海岸と併せた  
 応募

「第1期モデル地域」における  
 追加的調査及び検討の応募

#### モデル地域の選定

(選定基準となる各要件の適合性を総合的に評価し、選定)

モデルとしての妥当性

回収・処理の困難性

重点的な対策の必要性

関係者の協力の確保

今後の漂流・漂着ゴミ対  
 策に関する展望

モデルとしての妥当性

重点海岸の選定基準

今後の漂流・漂着ゴミ  
 対策に関する展望

追加的な調査及び検討の  
 必要性と効果

関係者の協力の確保

今後の漂流・漂着ゴミ対策  
 に関する展望

漂着ゴミに関する詳細な調査、  
 及び検討の実施

追加的な調査、  
 及び検討の実施

本調査と、「漂流・漂着ゴミ対策重点地域クリーンアップ事業」の重点海岸  
 と併せて応募する場合、同事業のフォローアップの一環として評価される。